

## まちの現状と問題点

日本の子供の7人の1人が貧困状態にある。世界でも貧困により年間560万人で5秒に1人、命を落としているデータを見て、この命を少しでも助けたいと思ったから。貧困の主な原因は健康管理の不十分でお金がなく、受けるべきワクチンや予防接種、食料が十分に届いていないこと。私たちはまだ日本の貧困状況や世界の子供が苦しんでいることを多くの人たちが認識していないこと。日本でも特に貧困率が高い沖縄県ではほかの都道府県に比べて2倍の貧困率にある。その原因は所得の低さと生活コストが比例していないから。



## まちの未来の姿

SDGs【 1、3 】

貧困がなくなり、すべての子供たちの笑顔にあふれること。すべての人たちは自動販売機のことを認識しているので、募金を設置すれば募金に対しても意識が高まり、食べ物が十分に食べることができない子供たちが少しでも十分に食べられるようになること。子供たちの笑顔が街にたくさんあふれ、町がもっと良くなると思う。

## 思い描く未来に向けてのプロジェクトアイデア

プロジェクト名【 じーはん募金 】

私たちはまだ募金活動に対して意識が低く、募金できる所はお店に行って募金できるけれど、私たちのもっと身近なところで募金できる所を考えると自動販売機でできるのではないかと考えた。自動販売機だったら、お年寄りから子供まですべての人が簡単に使えることができ、そこに募金があれば募金に目がいき、飲み物を買ったおつりなどを使って募金ができれば、少しでも募金に対して意識が高まると考えた。募金の仕組みは、私たちが普段使っている自動販売機の飲み物のスペースに募金スペースを作り、募金ができるということ。飲み物を買うのと同じようにボタンがあり、募金したいお金を入れ、募金ボタンを押すと募金完了になる。金額は1000円まで入れることができ、自動販売機と同じように1円と5円は入れることができない。集まったお金は現在、貧困率が高い沖縄県の子供食堂から寄付できたらいいなと思いました。沖縄県でできたら、次は全国に大きくしていき、さらにはユニセフという、世界にも募金を届けられたらいいなと思った。じーはん募金の設置場所には、まずは学校や会社などはよく自動販売機は使うと思うのでそこから設置したいと考えました。

## プロジェクトを拡げるために必要だと思う協働先（企業、団体、学校、自治体etc.）と協働方法

子供食堂に携わっているNPO・NGOと協力すること。  
自動販売機に携わっているコカ・コーラと協力すること。  
ユニセフと連携すること。